資　　料　　1
令和６年９月 19 日
総　市　委　０　６

第7次 八戸市総合計画
ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

第７次八戸市総合計画
令和６年度
意　　見　　書
【案】

令和６年 10 月１日

八戸市総合計画等推進市民委員会

＜ 目 次 ＞

Ⅰ はじめに 1

Ⅱ ６つの政策に対する評価及び意見の概要..... 2～ 6

Ⅲ 個別の施策に対する意見..... 7～17

・政策１「ひと」を育む （子育て・教育・文化・スポーツ） 7～ 8

・政策２「経済」を回す（産業・雇用） 9

・政策３「暮らし」を守る（環境・防災・防犯・健康） 10～11

・政策４「ともに生きる社会」をつくる 12
（福祉・コミュニティ・多文化共生）

・政策５「まち」を形づくる（都市整備・公共交通） 13～14

・政策６「八戸らしさ」を活かす
（シティプロモーション・観光・国際交流） 15～16

・その他 全体的なことに関する意見 17

Ⅳ 参考 ..... 18～24

・第７次八戸市総合計画の政策体系 18～19

・令和６年市民アンケート調査結果（抜粋） 20～23

・八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿 24

・審議経過 24

Ⅰ　はじめに

当市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行、デジタル化の進展、グリーン・循環型社会の実現に向けた取組の加速化など、これまでになく変容しており、大きな変化の時を迎えている。

また、令和５年５月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が引き下げられ、コロナ禍の影響が回復しつつある一方で、国際情勢等を背景とした物価・燃料価格の高騰が長期化するなどの、重要課題が山積している。

このような状況下にある中、市では、豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現するため、令和４年３月に策定した第７次八戸市総合計画により、地域が一体となって目指す将来都市像「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」の実現に向け、以下の６つの政策を推進している。

- 政策１　「ひと」を育む　（子育て・教育・文化・スポーツ）
- 政策２　「経済」を回す　（産業・雇用）
- 政策３　「暮らし」を守る（環境・防災・防犯・健康）
- 政策４　「ともに生きる社会」をつくる（福祉・コミュニティ・多文化共生）
- 政策５　「まち」を形づくる　　（都市整備・公共交通）
- 政策６　「八戸らしさ」を活かす（シティプロモーション・観光・国際交流）

本委員会では、第７次八戸市総合計画の着実な推進を図るため、展開する全 616 事業の実施状況、施策ごとに設定された進行管理指標や市民アンケート調査の結果をもとに、６つの政策に位置付けられた 55 施策の進捗状況を評価した。また、今後重点的に取り組むべき事項を審議し、本意見書に取りまとめた。

本委員会の意見が、市勢の更なる発展に向けた市政運営の一助となることを期待する。

Ⅱ　6つの政策に対する評価及び意見の概要

市が提示した６政策 55 施策に対する自己評価（ａ～ｄ）について、市民アンケートの集計結果、進行管理指標の動向、各個別事業の進捗状況等を基に本委員会で審議した結果、各政策の評価及び総括意見は下記のとおりである。なお、各施策の評価根拠としたデータについては、八戸市総合計画等推進市民委員会の会議資料として市のホームページに公表されていることから、本意見書では割愛する。

（評価凡例）
・ａ：非常に順調に進んでいる
・ｂ：順調に進んでいる
・ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
・ｄ：順調に進んでいないため、改善の余地がある

■政策１「ひと」を育む（子育て・教育・文化・スポーツ）

政策１は「次代を担うひとを育む」と「教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする」の２つの方向性で構成され、８つの施策が位置づけられており、そのうち７施策については、いずれもｂ評価と判断したが、「結婚支援の充実」については、市民満足度や認知度が低い結果となったことを鑑み、ｃ評価としている。

政策１に対する本委員会からの意見として、結婚に対する資金支援の取組や子どもたちに関する取組、美術館運営等、計 13 件の意見を付している。

■政策２「経済」を回す（産業・雇用）

政策２は「経済的な価値を生み出す」、「販路・消費を拡大する」、「働く場と働きやすい環境をつくる」の３つの方向性で構成され、13 の施策が位置づけられており、そのうち５施策については、いずれもｂ評価と判断したが、残る８施策については市民満足度の低さや進行管理指標の推移を鑑み、ｃ評価としている。

政策２に対する本委員会からの意見として、畜産業に係る事業数の増加や PR 強化のほか、販路開拓、雇用・就業に対する取組等、計４件の意見を付している。

■政策３「暮らし」を守る（環境・防災・防犯・健康）

政策３は「環境を守る」、「安全安心を守る」、「健康を守る」の３つの方向性で構成され、11 の施策が位置づけられている。

「消防・救急体制の充実」及び「地域医療の充実」について、進行管理指標の動向及び市民満足度も高い結果となっていることを鑑み、ａ評価としている一方、「健康づくりの推進」は、「各種がん検診の受診率」の進行管理指標の動向を鑑み、ｃ評価としている。そのほかの８項目については、いずれも計画どおり順調に進んでいると判断した。

政策３に対する本委員会からの意見として、災害時を想定した体制づくりや通学路

等における子どもたちの安全に資する取組、健康はちのへ 21 ポイントアプリに関する取組の充実、がん検診の受診率向上に向けた取組の実施等、計 13 件の意見を付している。

■政策４「ともに生きる社会」をつくる（福祉・コミュニティ・多文化共生）

政策４は「支え合う地域をつくる」と「社会参加しやすい環境をつくる」の２つの方向性で構成され、10 の施策が位置づけられており、全ての項目について、いずれもｂ評価と判断した。

政策４に対する本委員会からの意見として、学生や若者がまちづくりに関わりやすい施策の展開や高齢者・障がい者の社会参加の促進等、計４件の意見を付している。

■政策５「まち」を形づくる（都市整備・公共交通）

政策５は「持続可能な「まち」の基盤をつくる」と「市内外の移動手段を確保する」の２つの方向性で構成され、８つの施策が位置づけられており、そのうち７項目については、いずれもｂ評価と判断した。

「良好な市街地の形成」について、支援事業が展開されているものの、中心市街地への来街者数等の進行管理指標の数値が下降した点を踏まえ、ｃ評価としている。

また、政策５に対する本委員会からの意見として、中心市街地の来街者を増やすための取組やハチカの分析等を活かした地域公共交通の取組等、計９件の意見を付している。

■政策６「八戸らしさ」を活かす（シティプロモーション・観光・国際交流）

政策６は「価値を高める」と「魅力を広める」の２つの方向性で構成され、５つの施策が位置づけられており、そのうち４項目については、いずれもｂ評価と判断した。

「国際交流の促進」について、コロナ禍の影響下においても事業が展開されていたものの、国際交流に関する進行管理指標の実績が出ていないことを鑑み、ｃ評価としている。

また、政策６に対する本委員会からの意見として、是川縄文館での取組や、SNS・8base 等を活かしたシティプロモーションの推進等、計８件の意見を付している。

■その他

全体的なことに関する意見として、計2件の意見を付している。

【施策ごとの評価一覧】

政策１「ひと」を育む	
施策の方向性Ⅰ　次代を担う「ひと」を育む	
１　結婚支援の充実	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
２　妊娠・出産・子育て支援の充実	ｂ：順調に進んでいる
３　就学前教育の充実	ｂ：順調に進んでいる
４　小・中学校教育の充実	ｂ：順調に進んでいる
５　高等学校教育・高等教育の充実	ｂ：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ　教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする	
１　社会教育の充実	ｂ：順調に進んでいる
２　文化芸術の振興	ｂ：順調に進んでいる
３　スポーツの振興	ｂ：順調に進んでいる
政策２「経済」を回す	
施策の方向性Ⅰ　経済的な価値を生み出す	
１　農林業の振興	ｂ：順調に進んでいる
２　畜産業の振興	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
３　水産業の振興	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
４　ものづくり産業の振興	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
施策の方向性Ⅱ　販路・消費を拡大する	
１　商業の振興	ｂ：順調に進んでいる
２　観光・スポーツビジネスの振興	ｂ：順調に進んでいる
３　貿易の振興	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
４　販路開拓の促進	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
施策の方向性Ⅲ　働く場と働きやすい環境をつくる	
１　企業誘致の推進	ｂ：順調に進んでいる
２　中小企業・小規模事業者の振興	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
３　創業環境の充実	ｂ：順調に進んでいる
４　雇用・就業の促進	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
５　労働環境の充実	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

政策３「暮らし」を守る		
施策の方向性Ⅰ　環境を守る		
	１　衛生的な生活環境の保全	ｂ：順調に進んでいる
	２　自然環境の保全	ｂ：順調に進んでいる
	３　グリーン・循環型社会の構築	ｂ：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ　安全安心を守る		
	１　地域防災の充実	ｂ：順調に進んでいる
	２　消防・救急体制の充実	ａ：非常に順調に進んでいる
	３　防犯対策の充実	ｂ：順調に進んでいる
	４　交通安全対策の充実	ｂ：順調に進んでいる
	５　消費生活の安心確保	ｂ：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅲ　健康を守る		
	１　健康づくりの推進	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
	２　疾病予防・重症化予防の推進	ｂ：順調に進んでいる
	３　地域医療の充実	ａ：非常に順調に進んでいる
政策４「ともに生きる社会」をつくる		
施策の方向性Ⅰ　支え合う地域をつくる		
	１　地域福祉の充実	ｂ：順調に進んでいる
	２　介護・高齢者支援の充実	ｂ：順調に進んでいる
	３　障がい者支援の充実	ｂ：順調に進んでいる
	４　生活保障の充実	ｂ：順調に進んでいる
	５　コミュニティの振興	ｂ：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ　社会参加しやすい環境をつくる		
	１　市民活動の促進	ｂ：順調に進んでいる
	２　高齢者の活躍促進	ｂ：順調に進んでいる
	３　障がい者の社会参加の促進	ｂ：順調に進んでいる
	４　男女共同参画の推進	ｂ：順調に進んでいる
	５　多文化共生の推進	ｂ：順調に進んでいる

政策５「まち」を形づくる		
施策の方向性Ⅰ　持続可能な「まち」の基盤をつくる		
	１　良好な市街地の形成	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
	２　港湾・河川の整備	ｂ：順調に進んでいる
	３　道路・橋りょうの整備	ｂ：順調に進んでいる
	４　上下水道等の整備	ｂ：順調に進んでいる
	５　公園・緑地の整備	ｂ：順調に進んでいる
	６　墓地・斎場の整備	ｂ：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ　市内外の移動手段を確保する		
	１　地域公共交通の維持	ｂ：順調に進んでいる
	２　広域公共交通の充実	ｂ：順調に進んでいる
政策６「八戸らしさ」を活かす		
施策の方向性Ⅰ　価値を高める		
	１　八戸ブランドの確立	ｂ：順調に進んでいる
	２　史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	ｂ：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ　魅力を広める		
	１　シティプロモーションの推進	ｂ：順調に進んでいる
	２　観光地域づくりの推進	ｂ：順調に進んでいる
	３　国際交流の促進	ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

【参考：評価分布】

評価　＼　政策	1	2	3	4	5	6	全体
ａ：非常に順調に進んでいる	0	0	2	0	0	0	2
ｂ：順調に進んでいる	7	5	8	10	7	4	41
ｃ：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある	1	8	1	0	1	1	12
ｄ：順調に進んでいないため、改善の必要がある	0	0	0	0	0	0	0
施策数	8	13	11	10	8	5	55

Ⅲ　個別の施策に対する意見

政策１	「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅰ　次代を担う「ひと」を育む	１．結婚支援の充実	1.　少しでも多くの人が、物価高の影響や出産・子育てへの不安等、結婚へのハードルを感じないような施策を実施するとともに、施策のPRを強化する必要がある。
		2.　結婚することでどのような市の補助が受けられるのか（施策の対象となるのか）、確認できる取組をする必要がある。
		3.　あおもり出会いサポートセンターの市民登録者数を増加させるため、利用登録料助成に係る取組は有効である。
		4.　進行管理指標として示されている婚姻率については、指標の定義である人口千人に対する婚姻件数の割合ではなく、婚姻に関係する世代を対象とした集計で実施した方が、より実態に則した数字が得られるものと考える。
	２．妊娠・出産・子育て支援の充実	5.　放課後児童健全育成事業では、各児童クラブに対して、地域の課題やニーズを踏まえたクラブ運営に努めるよう積極的に働きかける必要がある。
	４．小・中学校教育の充実	6.　小・中学校整備事業について、子どもたちの心が晴々とした気持ちで学校に通えるように、外壁の修繕の実施及び外壁の色について検討する必要がある。
		7.　特別支援教育アシスト事業について、グレーゾーンと呼ばれる子ども達に対して、より一層の適切な支援や教育現場の負担軽減を図るため、現場の現状を鑑みた人員配置を検討する必要がある。

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅰ　次代を担う「ひと」を育む	４．小・中学校教育の充実	8.　どこの学校にいても子ども達が希望するクラブ活動ができるように、市が地域の人材や団体と子どもや親との仲介的な役割を担う必要がある。
		9.　地域や団体が実施している学校教育と連携した活動等に関する取組について、関係者間での共有・発信できる取組について検討する必要がある。
	５．高等学校教育・高等教育の充実	10. 高校生・大学生のうちに郷土愛を育む教育として実施される「八戸地域学」は、Uターンの促進のため、非常に重要な取組である。
Ⅱ　教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする	２．文化芸術の振興	11. 八戸市への観光客を増やす呼び水とするためにも、八戸市美術館運営事業では、著名な画家、アーティストの展示会を積極的に開催する必要がある。
		12. 学校単位での美術館訪問や鑑賞機会を設ける等の取組を通して、子ども達の芸術に触れ合う機会の創出や豊かな人間性・感性の醸成を図る必要がある。
	３．スポーツの振興	13. 施策の目指す姿に対して、公共施設間の連携や地域で活動する団体を巻き込んだ活動に取り組む必要がある。また、将来的に八戸市体育館と中心街活性化に関する取組の連携が図られると、より良いまちづくりに繋がるものと考える。

政策２　「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅰ　経済的な価値を生み出す	２．畜産業の振興	14. 農林業と比べて畜産業に関する事業数が少ないため、取組を増やし、畜産業への支援を図る必要がある。
		15. 畜産業に係るPRを強化し、地場の畜産業に対する市民の理解促進を図る必要がある。
Ⅱ　販路・消費を拡大する	４．販路開拓の促進	16. 事業の実施に際しては、費用対効果を意識し、創意工夫を図りながら取り組む必要がある。
Ⅲ　働く場と働きやすい環境をつくる	４．雇用・就業の促進	17. 首都圏で獲得したスキルを地元に戻って活かすことができるよう、働きやすい環境の整備や就職における待遇の向上に取り組み、地元に戻って活躍できる人材の受け皿を現状よりも大きくする取組が必要である。

政策３　「暮らし」を守る（政策分野：環境・防災・防犯・健康）

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅰ　環境を守る	１．衛生的な生活環境の保全	18. 不法投棄多発地点への監視カメラ設置や、年間を通じた市内一円のパトロール活動の強化など、不法投棄の一層の防止に向け、継続的に取り組む必要がある。
Ⅱ　安全安心を守る	１．地域防災の充実	19. 災害ボランティアの方々との連携や避難所の支援物資の管理など、平時からの災害に備えた体制づくりに取り組む必要がある。
		20. 被災時に民間団体で実施している支援を有効活用できるよう、積極的に災害協定を結ぶ必要がある。
	２．消防・救急体制の充実	21. 今後も消防団員の減少が想定される中、加入者の増加に資する取組が必要である。
	３．防犯対策の充実	22. 様々な地域において、塾帰り等の子どもたちの安全の確保に不安を感じているとの声があるため、そうした地域の声を拾える仕組みを構築するとともに、照明環境の改善を図る必要がある。
		23. 各学校の間口に応じた適切な照度を検証し、照明環境の充実を図る必要がある。
	４．交通安全対策の充実	24. 子どもたちが安全に通学できるよう、通学路にある側溝や路面の状況が悪い場合には、速やかに改善できるような取組が必要である。
		25. 通学路への防護柵の設置について、子どもたちが安全に通学できるよう、危険個所の優先順位を決めて計画的かつ迅速に取り組む必要がある。

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅲ　健康を守る	１．健康づくりの推進	26. 健康はちのへ21ポイントアプリ事業について、利用者数がしばらく横ばいのままで推移しているため、利用者の増加や利用者のモチベーションアップに資する取組が必要である。
		27. 健康はちのへ21ポイントアプリ事業について、アプリ登録時に居住地域の選択ができれば、その居住地域内の利用者間で張り合いが生まれるため、モチベーションアップに繋がる可能性がある。
		28. 市内の施設ごとに実施しているがん検診の受診率を共有し、全体的な動向を確認したうえで、各種がん受診率の向上に資する取組が必要である。
		29. 市内全体におけるがん検診受診率のデータ集計に関しては、デジタルの力の活用を検討して対応する必要がある。
	２．疾病予防・重症化予防の推進	30. 八戸市民病院において、全身を一度にがん検査することができるPET検査の機器を導入する必要がある。

政策４	「ともに生きる社会」をつくる （政策分野：福祉・コミュニティ・多文化共生）

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅱ　社会参加しやすい環境をつくる	１．市民活動の促進	31. 学生まちづくり助成金等事業や若者マチナカ会議運営事業など、学生をはじめ若者がまちづくりに関わりやすい施策について、継続的に取り組む必要がある。
	２．高齢者の活躍促進	32. 定年退職から年金受給開始年齢までの間の方が仕事に就けるように、八戸公共職業安定所と連携してシルバー人材センターの会員を支援する取組が必要である。
	３．障がい者の社会参加の促進	33. 障がい者の雇用率を上げていく必要があることから、進行管理指標として設定されている八戸公共職業安定所管内の障害者雇用率について、その率を上げていく取組が必要である。
	４．男女共同参画の推進	34. LGBT等に関する理解促進について、価値観の共生や相互理解に対して課題が多くあることから、引き続き取り組む必要がある。

政策５　「まち」を形づくる（政策分野：都市整備・公共交通）

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅰ　持続可能な「まち」の基盤をつくる	１．良好な市街地の形成	35. 中心市街地における空き店舗率を改善するため、貸す側と借りる側のギャップを軽減する取組が必要である。
		36. イベント開催のみならず、買う場所や観る場所を増やし、平日でも人の流れが途絶えない中心市街地のまちづくりを進める必要がある。
		37. コロナ禍が明けても中心市街地への来街者数が昨年より減少しているため、スピード感を持ってまちづくりを進め、場合によっては追加策を展開する必要がある。
		38. 高齢者向けに中心市街地で集う場所があれば、まちの活性化に寄与するため、中心市街地に活動の場や憩いの場を整備する必要がある。
	３．道路・橋りょうの整備	39. 中心市街地の歩道について、車椅子やベビーカーの利用者から、歩きにくいとの声が多々聞こえてくることから、市民の声に寄り添った歩道の維持修繕・計画策定をする必要がある。
	５．公園・緑地の整備	40. 町内会で維持管理している公園の草刈りについて、町内の人口・世帯数減少や高齢化が進行しているために人材の確保が難しいことや、夏場での草刈りは熱中症のおそれがあることから、町内会で対応している現行の管理方法について見直しを行う必要がある。
Ⅱ　市内外の移動手段を確保する	１．地域公共交通の維持	41. ハチカの導入により、料金支払い時の簡略化や利便性が向上しており、バスの利用がより手軽になっているため、ハチカに関する分析を進めるほか、利用者の声やニーズを踏まえた地域公共交通の維持に向けて、効果的な施策を展開する必要がある。

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
		42. 高齢社会になり免許返納者も増加している中、公共交通の移動手段は高齢者にとって必須であり、社会的孤立のリスク軽減等につながるため、継続的に取り組む必要がある。
		43. 高齢により買い物が難しい市民にとって、優しい公共交通の在り方を引き続き検討する必要がある。

政策６	「八戸らしさ」を活かす （政策分野：シティプロモーション・観光・国際交流）

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
Ⅰ　価値を高める	１．八戸ブランドの確立	44. ワイン産業を生業や文化にしていくために長期的な視点が必要であるが、ワイナリーがある自治体はそれだけでPRポイントとなるため、将来の達成規模と補助支援のバランスを考えながら施策に取り組む必要がある。
	２．史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	45. 是川縄文館において、無料ガイドによる展示等の説明が受けられることを市内外に周知しながら、縄文の魅力を発信していく必要がある。
		46. 国の史跡に指定されている「長七谷地貝塚」は世界遺産の構成資産ではないものの、貴重な資産であることから、是川の縄文と連携した取組を展開し、魅力を発信していく必要がある。
Ⅱ　魅力を広める	１．シティプロモーションの推進	47. シティプロモーションを推進するため、八戸市オリジナル段ボールについて、購入場所や活用方法等の周知のほか、市民の目により触れられるような取組をする必要がある。
		48. SNSを積極的に活用して、シティプロモーションを推進していく必要がある。
		49. UIJターンや人材確保のきっかけづくりのひとつとして、都市部における観光･誘客の拠点である８baseを積極的に活用する必要がある。
		50. いか等、八戸が日本一である事柄について、子どもたちをはじめとする市民に対して、より認識してもらえるような取組を進める必要がある。

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
	２．観光地域づくりの推進	51. 関係各所との連携強化や関係者及び市民との横連携の機会創出を図るほか、観光について市内外への発信を強化することで、当市の観光振興を推進していく必要がある。

その他　全体的なことに関する意見

施策の方向性	施　策	意　見　の　内　容
		52. 子育て、生活・経済面の理由から近隣の市町村に人口が流出しないよう、幅広く各施策を展開していく必要がある。
		53. 「〇〇のまち八戸」というキャッチフレーズが非常に多いと感じる。ブランディングやシティプロモーションの観点からある程度絞るなど、戦略的に管理・展開していく必要がある。

Ⅳ 参 考

第７次八戸市総合計画の政策体系

政策	施策の方向性	施　策
政策１ 「ひと」を育む （子育て・教育・ 文化・スポーツ）	Ⅰ　次代を担う「ひと」を育む	１．結婚支援の充実
		２．妊娠・出産・子育て支援の充実
		３．就学前教育の充実
		４．小・中学校教育の充実
		５．高等学校教育・高等教育の充実
	Ⅱ　教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする	１．社会教育の充実
		２．文化芸術の振興
		３．スポーツの振興
政策２ 「経済」を回す （産業・雇用）	Ⅰ　経済的な価値を生み出す	１．農林業の振興
		２．畜産業の振興
		３．水産業の振興
		４．ものづくり産業の振興
	Ⅱ　販路・消費を拡大する	１．商業の振興
		２．観光・スポーツビジネスの振興
		３．貿易の振興
		４．販路開拓の促進
	Ⅲ　働く場と働きやすい環境をつくる	１．企業誘致の推進
		２．中小企業・小規模事業者の振興
		３．創業環境の充実
		４．雇用・就業の促進
		５．労働環境の充実
政策３ 「暮らし」を守る （環境・防災・ 防犯・健康）	Ⅰ　環境を守る	１．衛生的な生活環境の保全
		２．自然環境の保全
		３．グリーン・循環型社会の構築
	Ⅱ　安全安心を守る	１．地域防災の充実
		２．消防・救急体制の充実
		３．防犯対策の充実
		４．交通安全対策の充実
		５．消費生活の安心確保
	Ⅲ　健康を守る	１．健康づくりの推進
		２．疾病予防・重症化予防の推進
		３．地域医療の充実

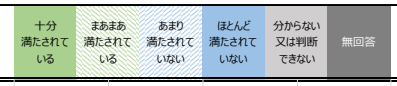
政策	施策の方向性	施　策
政策４ 「ともに生きる社会」 をつくる （福祉・コミュニティ ・多文化共生）	Ⅰ　支え合う地域をつくる	１．地域福祉の充実
		２．介護・高齢者支援の充実
		３．障がい者支援の充実
		４．生活保障の充実
		５．コミュニティの振興
	Ⅱ　社会参加しやすい環境 をつくる	１．市民活動の促進
		２．高齢者の活躍促進
		３．障がい者の社会参加の促進
		４．男女共同参画の推進
		５．多文化共生の推進
政策５ 「まち」を形づくる （都市整備・公共交通）	Ⅰ　持続可能な「まち」の 基盤をつくる	１．良好な市街地の形成
		２．港湾・河川の整備
		３．道路・橋りょうの整備
		４．上下水道等の整備
		５．公園・緑地の整備
		６．墓地・斎場の整備
	Ⅱ　市内外の移動手段を 確保する	１．地域公共交通の維持
		２．広域公共交通の充実
政策６ 「八戸らしさ」を活かす （シティプロモーション ・観光・国際交流）	Ⅰ　価値を高める	１．八戸ブランドの確立
		２．史跡・名勝・文化財の保存・ 整備・活用
	Ⅱ　魅力を広める	１．シティプロモーションの推進
		２．観光地域づくりの推進
		３．国際交流の促進

令和６年市民アンケート調査結果（抜粋）

①施策別満足度（満足度の高い順）

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」の合計は、「地域医療の充実」が最も高く、次いで「上下水道等の整備」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	満足度	前回値	差分
1	→	1	32	地域医療の充実	**81.6**	77.1	4.5
2	↑	3	46	上下水道等の整備	**74.9**	71.0	3.9
3	↑	5	31	疾病予防・重症化予防の推進	**73.5**	69.2	4.3
4	→	4	26	消防・救急体制の充実	**72.2**	69.6	2.6
5	↓	2	51	八戸ブランドの確立	**71.3**	74.0	-2.7
6	→	6	48	墓地・斎場の整備	**69.0**	62.5	6.5
7	↑	10	22	衛生的な生活環境の保全	**63.7**	56.7	7.0
8	↓	7	47	公園・緑地の整備	**61.2**	59.6	1.6
9	↓	8	23	自然環境の保全	**59.5**	57.9	1.6
10	↓	9	45	道路・橋りょうの整備	**57.8**	57.7	0.1
11	→	11	52	史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	**56.2**	55.8	0.4
12	↑	14	49	地域公共交通の維持	**51.1**	47.9	3.2
13	↑	16	50	広域公共交通の充実	**51.0**	44.6	6.4
14	↑	21	24	グリーン・循環型社会の構築	**50.0**	43.1	6.9
15	↑	22	30	健康づくりの推進	**48.6**	43.0	5.6
16	↓	13	9	農林業の振興	**47.5**	50.4	-2.9
17	↑	18	34	介護・高齢者支援の充実	**47.3**	43.5	3.8
18	↓	15	44	港湾・河川の整備	**46.9**	44.8	2.1
19	↑	20	43	良好な市街地の形成	**46.8**	43.3	3.5
20	↓	12	25	地域防災の充実	**46.5**	50.6	-4.1
21	↑	23	33	地域福祉の充実	**44.9**	40.8	4.1
22	↓	19	28	交通安全対策の充実	**44.4**	43.4	1.0
23	↓	17	14	観光・スポーツビジネスの振興	**42.8**	44.5	-1.7
24	→	24	7	文化芸術の振興	**40.4**	40.6	-0.2
25	↑	28	37	コミュニティの振興	**40.3**	37.7	2.6
26	↑	27	8	スポーツの振興	**39.0**	38.7	0.3
27	↑	30	54	観光地域づくりの推進	**37.6**	33.6	4.0
28	↑	33	13	商業の振興	**37.4**	31.7	5.7
28	↑	31	35	障がい者支援の充実	**37.4**	33.1	4.3
30	↓	25	11	水産業の振興	**37.2**	39.3	-2.1
31	↓	26	4	小・中学校教育の充実	**36.9**	39.2	-2.3
32	↑	38	29	消費生活の安心確保	**35.8**	29.0	6.8
33	↑	35	36	生活保障の充実	**33.9**	31.3	2.6
34	↑	36	6	社会教育の充実	**33.6**	30.4	3.2
35	↓	29	10	畜産業の振興	**33.3**	35.6	-2.3
36	↑	40	15	貿易の振興	**33.2**	28.0	5.2
37	↓	32	38	市民活動の促進	**32.8**	32.3	0.5
38	↓	34	3	就学前教育の充実	**32.0**	31.5	0.5
39	↓	38	12	ものづくり産業の振興	**31.6**	29.0	2.6
40	↓	37	39	高齢者の活躍促進	**31.2**	29.2	2.0
40	↑	44	41	男女共同参画の推進	**31.2**	25.7	5.5
42	→	42	2	妊娠・出産・子育て支援の充実	**31.0**	26.9	4.1
43	↑	48	40	障がい者の社会参加の促進	**30.6**	24.1	6.5
44	↑	47	27	防犯対策の充実	**30.5**	24.3	6.2
45	↓	41	16	販路開拓の促進	**30.2**	27.3	2.9
46	→	46	42	多文化共生の推進	**29.9**	24.6	5.3
47	↓	45	5	高等学校教育・高等教育の充実	**28.1**	25.6	2.5
48	↑	50	55	国際交流の促進	**27.3**	20.6	6.7
49	↓	48	53	シティプロモーションの推進	**27.2**	24.1	3.1
50	↓	43	17	企業誘致の推進	**24.2**	25.8	-1.6
51	↑	52	18	中小企業・小規模事業者の振興	**21.2**	17.5	3.7
51	↑	54	19	創業環境の充実	**21.2**	14.4	6.8
53	↓	51	20	雇用・就業の促進	**18.4**	18.0	0.4
54	↓	53	21	労働環境の充実	**17.5**	15.6	1.9
55	→	55	1	結婚支援の充実	**13.2**	9.8	3.4
				全施策の平均満足度	**41.7**	39.0	2.7



②施策別認知度

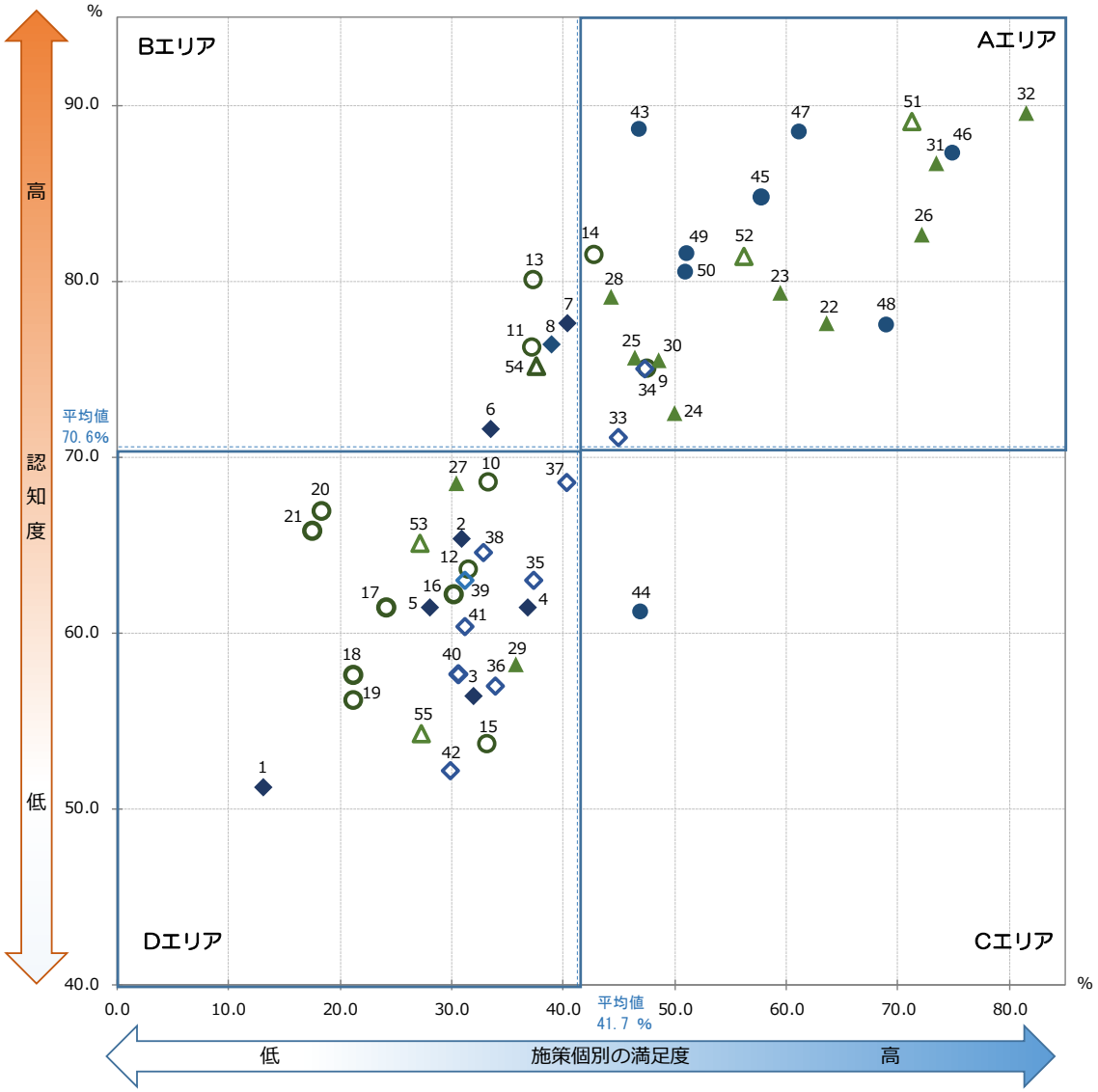
「十分満たされている」「まあまあ満たされている」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」を合わせた『認知度』は、「地域医療の充実」が最も高く、次いで「八戸ブランドの確立」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	認知している	分からない又は判断できない	無回答	認知度	前回値	差分
1	↑	3	32	地域医療の充実				**89.5**	87.3	2.2
2	↓	1	51	八戸ブランドの確立				**89.1**	91.1	-2.0
3	↓	2	43	良好な市街地の形成				**88.6**	89.1	-0.5
4	↑	6	47	公園・緑地の整備				**88.5**	85.9	2.6
5	→	5	46	上下水道等の整備				**87.3**	86.9	0.4
6	↓	3	31	疾病予防・重症化予防の推進				**86.7**	87.3	-0.6
7	→	7	45	道路・橋りょうの整備				**84.7**	85.0	-0.3
8	↑	12	26	消防・救急体制の充実				**82.6**	80.3	2.3
9	↑	14	49	地域公共交通の維持				**81.6**	78.3	3.3
10	↓	8	14	観光・スポーツビジネスの振興				**81.5**	82.6	-1.1
11	↓	10	52	史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用				**81.4**	81.2	0.2
12	↑	18	50	広域公共交通の充実				**80.5**	76.3	4.2
13	↓	11	13	商業の振興				**80.1**	80.5	-0.4
14	↓	13	23	自然環境の保全				**79.3**	78.8	0.5
15	↓	9	28	交通安全対策の充実				**79.1**	81.3	-2.2
16	↓	15	7	文化芸術の振興				**77.6**	77.1	0.5
16	↑	17	22	衛生的な生活環境の保全				**77.6**	76.5	1.1
18	↑	20	48	墓地・斎場の整備				**77.5**	72.9	4.6
19	↑	22	8	スポーツの振興				**76.4**	72.7	3.7
20	↓	19	11	水産業の振興				**76.2**	73.7	2.5
21	↓	15	25	地域防災の充実				**75.6**	77.1	-1.5
22	↑	23	30	健康づくりの推進				**75.5**	72.6	2.9
23	↑	26	54	観光地域づくりの推進				**75.2**	70.7	4.5
24	↓	20	9	農林業の振興				**75.0**	72.9	2.1
24	→	24	34	介護・高齢者支援の充実				**75.0**	72.5	2.5
26	↑	27	24	グリーン・循環型社会の構築				**72.5**	70.0	2.5
27	↑	28	6	社会教育の充実				**71.6**	69.2	2.4
28	↓	25	33	地域福祉の充実				**71.1**	70.8	0.3
29	↑	31	10	畜産業の振興				**68.6**	65.5	3.1
29	↑	30	37	コミュニティの振興				**68.6**	66.5	2.1
31	↑	32	27	防犯対策の充実				**68.5**	65.3	3.2
32	↑	34	20	雇用・就業の促進				**66.9**	65.1	1.8
33	↑	35	21	労働環境の充実				**65.8**	63.3	2.5
34	↓	29	2	妊娠・出産・子育て支援の充実				**65.3**	67.1	-1.8
35	↑	41	53	シティプロモーションの推進				**65.1**	58.9	6.2
36	↓	33	38	市民活動の促進				**64.6**	65.2	-0.6
37	↑	43	12	ものづくり産業の振興				**63.6**	57.9	5.7
38	↑	45	35	障がい者支援の充実				**63.0**	54.9	8.1
38	↑	40	39	高齢者の活躍促進				**63.0**	60.0	3.0
40	↑	42	16	販路開拓の促進				**62.2**	58.3	3.9
41	↓	36	4	小・中学校教育の充実				**61.4**	60.7	0.7
41	↓	37	5	高等学校教育・高等教育の充実				**61.4**	60.6	0.8
41	↓	38	17	企業誘致の推進				**61.4**	60.5	0.9
44	↓	39	44	港湾・河川の整備				**61.2**	60.2	1.0
45	↑	46	41	男女共同参画の推進				**60.4**	53.3	7.1
46	↑	50	29	消費生活の安心確保				**58.2**	46.7	11.5
47	↑	52	40	障がい者の社会参加の促進				**57.7**	46.6	11.1
48	→	48	18	中小企業・小規模事業者の振興				**57.6**	51.0	6.6
49	↓	47	36	生活保障の充実				**57.0**	52.6	4.4
50	↓	43	3	就学前教育の充実				**56.4**	57.9	-1.5
51	↓	50	19	創業環境の充実				**56.2**	46.7	9.5
52	↑	55	55	国際交流の促進				**54.3**	44.9	9.4
53	→	53	15	貿易の振興				**53.7**	46.0	7.7
54	→	54	42	多文化共生の推進				**52.2**	45.4	6.8
55	↓	49	1	結婚支援の充実				**51.2**	46.9	4.3
					0%	25%	50%	75%	100%			
				全施策の平均認知度				**70.6**	67.8	2.8

③満足度によるポジション分析

満足度および認知度が平均値を超えている「取組が広く知られ、その評価が高い」Aエリアには、22 の施策が含まれている。

満足度および認知度が平均値を下回る「取組が認識されておらず、評価も低い」Dエリアには、26 の施策が含まれている。



◆ 子育て・教育・文化・スポーツに関する分野　　○ 産業・雇用に関する分野

▲ 環境・防災・防犯・健康に関する分野　　◇ 福祉・コミュニティ・多文化共生に関する分野

● 都市整備・公共交通に関する分野　　△ シティプロモーション・観光・国際交流に関する分野

	◆	○	▲	◇	●	△	合計
A エリア：満足度・認知度が共に高い	0	2	9	2	7	2	22
B エリア：満足度が低く、認知度が高い	3	2	0	0	0	1	6
C エリア：満足度が高く、認知度が低い	0	0	0	0	1	0	1
D エリア：満足度・認知度が共に低い	5	9	2	8	0	2	26
合計	8	13	11	10	8	5	55

※満足度：「十分満たされている」「まあまあ満たされている」の合計
認知度：「十分満たされている」「まあまあ満たされている」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の合計

分野	項目	満足度	認知度
Aエリア			
○	09) 農林業の振興	47.5%	75.0%
○	14) 観光・スポーツビジネスの振興	42.8%	81.5%
▲	22) 衛生的な生活環境の保全	63.7%	77.6%
▲	23) 自然環境の保全	59.5%	79.3%
▲	24) グリーン・循環型社会の構築	50.0%	72.5%
▲	25) 地域防災の充実	46.5%	75.6%
▲	26) 消防・救急体制の充実	72.2%	82.6%
▲	28) 交通安全対策の充実	44.4%	79.1%
▲	30) 健康づくりの推進	48.6%	75.5%
▲	31) 疾病予防・重症化予防の推進	73.5%	86.7%
▲	32) 地域医療の充実	81.6%	89.5%
◇	33) 地域福祉の充実	44.9%	71.1%
◇	34) 介護・高齢者支援の充実	47.3%	75.0%
●	43) 良好な市街地の形成	46.8%	88.6%
●	45) 道路・橋りょうの整備	57.8%	84.7%
●	46) 上下水道等の整備	74.9%	87.3%
●	47) 公園・緑地の整備	61.2%	88.5%
●	48) 墓地・斎場の整備	69.0%	77.5%
●	49) 地域公共交通の維持	51.1%	81.6%
●	50) 広域公共交通の充実	51.0%	80.5%
△	51) 八戸ブランドの確立	71.3%	89.1%
△	52) 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	56.2%	81.4%
Bエリア			
◆	06) 社会教育の充実	33.6%	71.6%
◆	07) 文化芸術の振興	40.4%	77.6%
◆	08) スポーツの振興	39.0%	76.4%
○	11) 水産業の振興	37.2%	76.2%
○	13) 商業の振興	37.4%	80.1%
△	54) 観光地域づくりの推進	37.6%	75.2%

分野	項目	満足度	認知度
Cエリア			
●	44) 港湾・河川の整備	46.9%	61.2%
Dエリア			
◆	01) 結婚支援の充実	13.2%	51.2%
◆	02) 妊娠・出産・子育て支援の充実	31.0%	65.3%
◆	03) 就学前教育の充実	32.0%	56.4%
◆	04) 小・中学校教育の充実	36.9%	61.4%
◆	05) 高等学校教育・高等教育の充実	28.1%	61.4%
○	10) 畜産業の振興	33.3%	68.6%
○	12) ものづくり産業の振興	31.6%	63.6%
○	15) 貿易の振興	33.2%	53.7%
○	16) 販路開拓の促進	30.2%	62.2%
○	17) 企業誘致の推進	24.2%	61.4%
○	18) 中小企業・小規模事業者の振興	21.2%	57.6%
○	19) 創業環境の充実	21.2%	56.2%
○	20) 雇用・就業の促進	18.4%	66.9%
○	21) 労働環境の充実	17.5%	65.8%
▲	27) 防犯対策の充実	30.5%	68.5%
▲	29) 消費生活の安心確保	35.8%	58.2%
◇	35) 障がい者支援の充実	37.4%	63.0%
◇	36) 生活保障の充実	33.9%	57.0%
◇	37) コミュニティの振興	40.3%	68.6%
◇	38) 市民活動の促進	32.8%	64.6%
◇	39) 高齢者の活躍促進	31.2%	63.0%
◇	40) 障がい者の社会参加の促進	30.6%	57.7%
◇	41) 男女共同参画の推進	31.2%	60.4%
◇	42) 多文化共生の推進	29.9%	52.2%
△	53) シティプロモーションの推進	27.2%	65.1%
△	55) 国際交流の促進	27.3%	54.3%

八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿

（五十音順、敬称略）

役　職	氏　名	所属等
	小笠原　圭一	【第３回審議から】 八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会　事務局
	木村　順一	【第２回審議まで】 八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会　幹事
	柴田　紀志	八戸金融団 副会長
	髙森　えりか	公募
	立花　悟	NPO 法人青森県防災士会 副代表理事 八戸支部長
委員長	堤　静子	八戸学院大学 地域経営学部 特任教授
	田頭　順子	八戸国際交流協会理事（轟木保育園園長）
	中村　一明	連合青森三八地域協議会 議長
	松橋　満幸	八戸ホテル協議会　会長
	峯　敬子	八戸商工会議所 女性会　理事
副委員長	宮腰　直幸	八戸工業大学 感性デザイン学部 教授

審議経過

委員会	開催日	審議案件
第１回	**令和６年５月 16 日（木）**	**・第７次八戸市総合計画の実施状況に関する審議①**
第２回	**令和６年６月 27 日（木）**	**・第７次八戸市総合計画の実施状況に関する審議②**
第３回	**令和６年７月 18 日（木）**	**・第７次八戸市総合計画の実施状況に関する審議③**
第４回	令和６年８月 22 日（木）	・政策公約の取組状況に関する審議①
第５回	令和６年８月 30 日（金）	・政策公約の取組状況に関する審議②
第６回	令和６年９月 19 日（木）	・第７次八戸市総合計画 令和６年度意見書の取りまとめ ・市長任期３年目政策公約評価書の取りまとめ